

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名 : 愛隣の家グループホーム
 作成日 : 平成29年3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族会開催にて、家族で意見交換してもらっているが、さらに気軽に意見交換ができるように、職員と工夫が出来ないかを検討していた。外部評にて、家族のみでの場を設け、代表を通じて意見や要望を収集してもらい運営に生かせるような体制の検討を期待したいとの助言をいただいた。	家族が意見、要望を職員に表せる機会を設け、それらを運営に反映させることができる。	家族のみでの場を設け、代表を通じて意見や要望を収集してもらい運営に生かされる体制を作る。次回の春の家族会から、家族だけで意見交換できる時間を作る。	2ヶ月
2	36	玄関に置かれた面会簿は、入居者全員分が一つのファイルにまとめてあったが、個人情報の点から個人記入の検討が必要と思われると外部評価にて、助言をいただいた。	個人情報を適切に保護する	玄関に置かれた面会簿を、個別のファイルにする。	達成済
3	4	運営推進会議の議事録の中で、質問者を明示し、出された意見や質問に対する進捗状況を次回に説明されることを期待したいと外部評価で助言をいただいた。	会議での意見や質問をサービス向上に生かしやすいように、さらに工夫をする。	運営推進会議の議事録の中で、質問者を明示し、出された意見や質問に対する進捗状況を、次回に説明していくとサービス向上に生かしていく。3月の会議録から質問書を明記し、時価の会議に生かしていく。	6ヶ月
4	40	以前は、入居者と同じ食事を職員分も作り、食べていたが、職員分も作る調理時間と入居者の重度化に対して入居者にもっと時間をかけたいと考えた。及びその他の理由から、その日のメニューと同じような物を持参し、ホームの器に移し食事していたが、外部評価にて、味や量の確認を兼ねて、1名でも同じものを食べることを検討してはどうかと助言をいただいた。	職員も同じものを食べ、味や量などを確認する。	職員分の昼食も作りために、調理のやり方や午前中のケア及び業務の変更の検討などが必要となる。十分に検討し、準備が整い次第行う。	6ヶ月
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。